



## 武庫庄っ子は、学力は高いが主体性に課題あり

～H26 全国学力・学習状況調査結果より～ 校長 阿部 壮一郎

平成26年4月22日に、全国の6年生全員を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果に基づき、本校の学力及び学習状況の現状、課題、改善のための手立て、そして家庭でも取り組みをお願いしたいことについてお知らせします。

まず、学力調査については、本校6年生の学力は概ね良好で、国語A(基礎)、国語B(活用)、算数A(基礎)については、いずれも全国平均より4ポイント前後上回っています。さらに算数B(活用)は全国平均を8ポイント弱も上回る好成績でした。

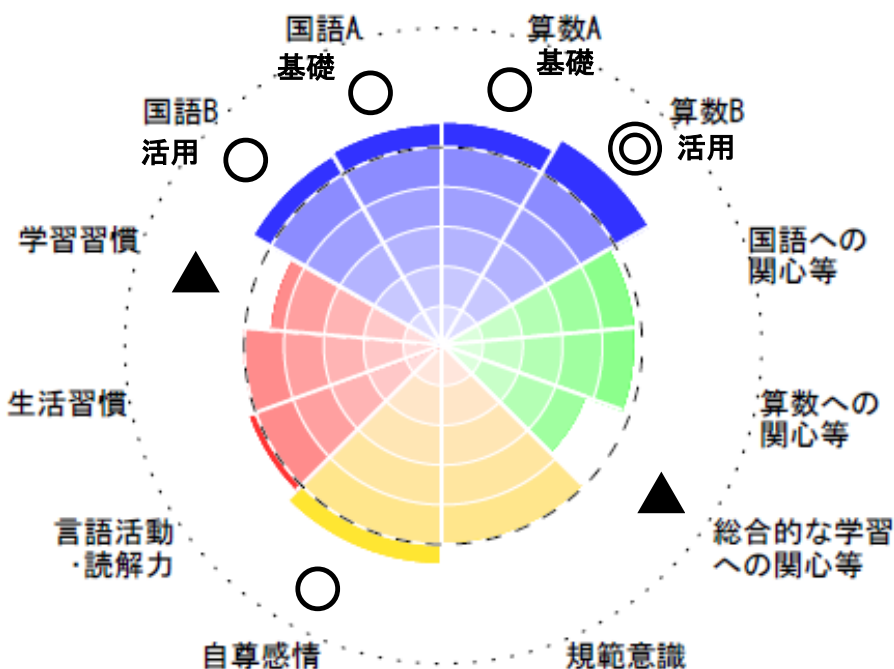
しかし、アンケートによる意識調査の結果を見ると、テストの点数に比べて意欲関心は低く、特に総合的な学習の時間における主体的な課題解決活動への意欲、地域や社会への関心に課題があります。このような武庫庄っ子の傾向は、ここ数年続いています。

一方、自分への自信及び夢や目標を持つ子が少ないという昨年度までの課題は、大きく改善されており、未来を意識した創立40周年事業のおかげではないかと嬉しく思っております。

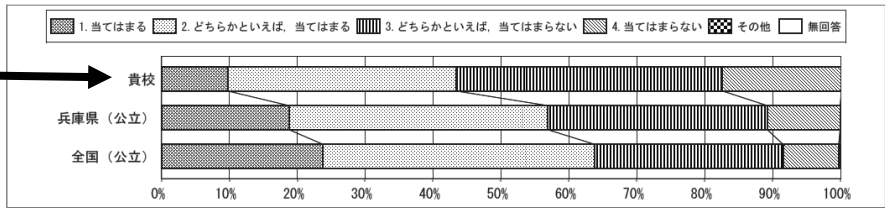
本校と全国平均との比較グラフ

※色がついている部分が本校6年生の実態

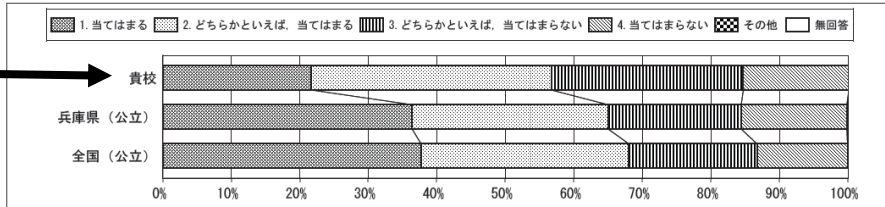
※内側の破線(---)の円が全国平均を表す



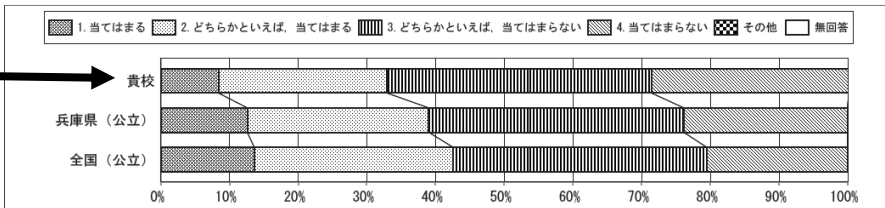
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



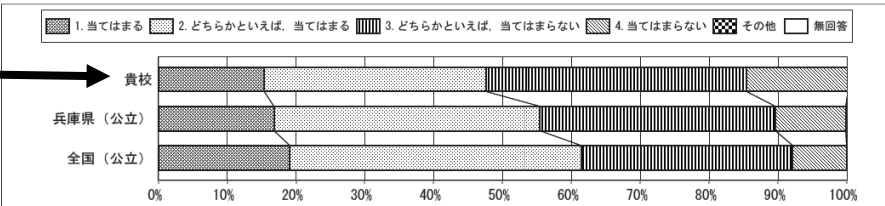
今住んでいる地域の行事に参加していますか



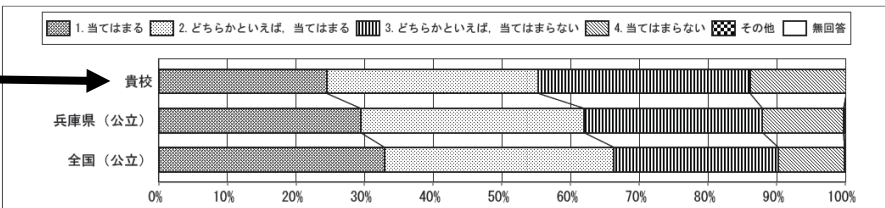
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



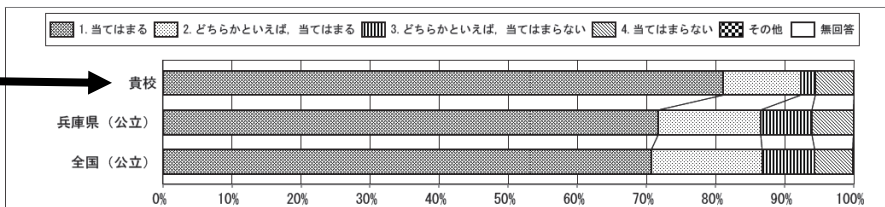
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



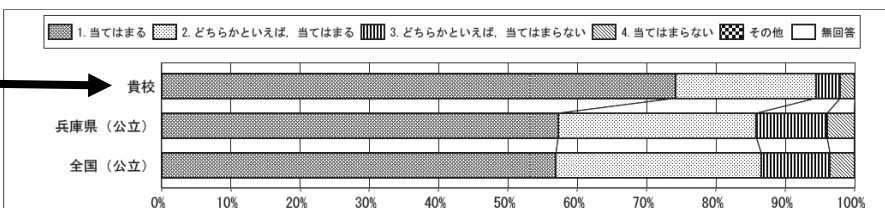
算数の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか考えますか



(^o^) 将来の夢や目標を持っていますか



(^o^) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか



# これからの学力は思考力、主体性、協働性が重視されます

右の記事(2014.12.23 毎日新聞)にあるように、今後求められる学力の姿が一層鮮明になってきました。

これからの変化が激しい予測困難な社会を生き抜くための力は、知識をたくさん教えてもらうという受け身の学習だけでは身につけません。答えのない問題を解決するために、習得した知識を活用できる思考力、そして他の人達と協力しながら、前向きにチャレンジし続ける協働性、主体性が求められます。

新しく出てきたアクティブラーニング(能動的学修)は、具体的には問題解決学習、体験学習、調査学習、グループディスカッション、グループワークなどを指し、そこでは、何をどれだけ教えてもらったかだけでなく、どのように学ぶか、何ができるようになるのかが問われてきます。

課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習ですから、これは従来からの総合的な学習の時間と同じようなものです。しかし、高校段階でなかなか浸透しない言い訳が大学入試のせいとされるからなのか、高校教育と大学入試を一挙に改革する動きが出てきました。当然小学校段階でも、基礎基本の習得と並行してこれらの力をつけていく手立てが求められます。



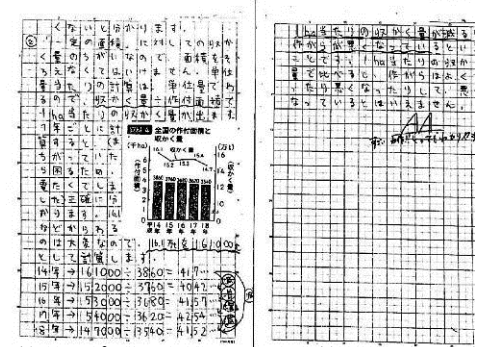
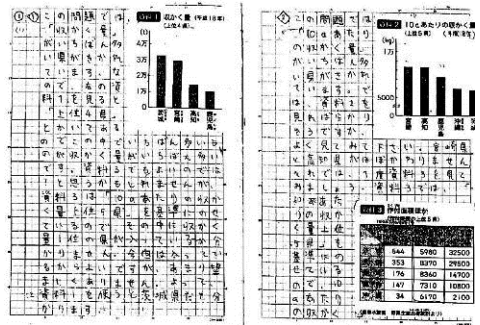
## 課題から・・・本校の思考力、主体性、協働性を育む手立て

**国語：** 目的や相手に応じて話したり聞いたりする、書く習慣を付ける、様々な文章を読む習慣を付ける授業。読書意欲、表現意欲につながる授業。

**算数：** 公式を習うとき、わけを理解できる、問題を解くとき、なぜそう考えたのかノートに書いたり他の子に説明したりできる授業。

**総合：** 自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表する学習活動の充実。子どもが本気で取り組みたいと思う課題や場の設定。つけたい力を明確にした学校独自のカリキュラム、地域にねざした教材開発。

**各教科：** 学習したことが、普段の生活で生かせるようになる授業。ペアや小集団で自分の考えを表現する場と時間がある授業。



算数レポート(本校5年児童の算数ノートより)

# 将来、自力飛行ができる子どもを育てるために



イラスト: 立命館大学体育会航空部 HP より  
ネガティブな例えに使用して申し訳ありません。グライダーそのものは素敵な乗り物です!

親（教師）機に引っ張ってもらっているときだけ良く飛び、手が離れると自力で飛び続けなくなるグライダー人間にならないように

## 必要な力を学校と家庭で育てていきましょう



## ご家庭にお願いしたいこと

### ★自発的な学びの習慣化を

宿題や塾など言われてやる学習時間は全国平均より長いですが、自分から進んで行う学習や読書の時間は短いことが本校児童の課題です。自主的な学習、図書館の利用も奨励して下さい。

### ★自己指導力、自己管理能力の育成を

今回の調査で、スマホ携帯の使用時間が長いほど学力が低くなる関係がはっきり出ています。危険性と適切な使い方を教え、誘惑に負けず自分をコントロールする力を育てて下さい。

### ★地域や社会に対する関心の涵養を

新聞やテレビのニュースを一緒に見たり話し合ったりして、世の中のできごとについての関心を高めてください。地域の行事や自然・社会体験活動にも積極的に参加させて下さい。